

画像上アノテーション 支援ツール

3つのGUIアプリ

- (1) 画像の中をクリック→座標を保存
- (2) (1) で保存したそれぞれの位置についてタグ付け
- (3) (よしなに分類したあと) 分類ごとに画像をグループ表示

1. マーキング

- 初期起動時に使用するデータ
 - 画像ファイル群（フォルダにまとめておく）

画像をクリックする

基本機能

- 画像の上でクリック
→ クリックした位置が保存される
- リストで削除も可能
- その画像が済んだら「次へ」
 - 進捗管理ファイル操作でやり直しもできる（後述）
- 「次へ」で状態保存
 - 最後の画像でもそこを押して保存



+ 機能

- ファイル名とタイトルのリストがあれば、画像の上にタイトルを表示
- 右下に進捗を表示
- 「励ましの言葉」リストがあれば左下に「励ましの言葉」をランダムに表示

▶ 次へ

終了

この作業、あなたがいなかったら大変だった。

進捗: 1個目 / 5個



すべて終わってから起動した場合

- 「すべての画像を処理しました」となる
- 進捗情報を管理するCSVファイルを削除すれば、やり直せる
 - そのときは、すでに保存されているクリック位置情報が読み込まれる
- ※なお、途中でも、特定の画像をやり直したくなったら、CSVファイルを開いてそのファイル名に対する進捗情報の値を1→0に変えれば、アプリ再起動でやり直せる



2. タグ付け

- 使用するデータ
 - 画像ファイル群（1つのフォルダ内にまとめておく）
 - ※1でマークしたものだけ読み込まれる
 - 位置マーク情報（1で作成したものをそのまま使える）
 - タグ候補リスト
 - （使うなら）ファイル名とタイトルのリスト

タグ付け

- クリック位置情報が与えられたら
- 各画像についてそれぞれの位置に対するタグ付けを行える



タグ付け

- 中央画像欄
 - マークした箇所のあたりに「○」が出る



タグ付け

- 左側ファイルリスト
 - クリックで直接該当ファイルのタグ付けに飛べる
 - タグが1個でもあると[与]マークが右に付く



タグ付け

- 左下ガイド欄
 - プログラムのソースをいじれば表示したい文言を変えられる
 - タグ付けの基準表示に



タグ付け

- 右側タグ付け欄
 - 複数あるときは縦に並ぶ
 - スクロールバー付き
 - 背景色を変えて、混同しにくく（↑混同したので設定した）

IMG3：同種複数

あああああ
あああ

#tag1 #tag2

NOSHOW

指定した位置に対するタグの設定：

(位置割合: 0.205, 0.618)

- ☐ システム登録タイトル以外
- ☐ 出現回数：単独
- ☐ 出現回数：複数
- ☒ 出現回数：同種複数
- ☐ FS：最大
- ☐ グループ：最大FS含有
- ☒ グループ：最大FS含有以外
- ☐ 方向：縦書き
- ☒ 方向：横書き
- ☐ 方向：縦書きに添える
- ☐ 方向：横書きに添える
- ☐ 方向：それ以外
- ☐ 書体：手書き風（曖昧）
- ☒ 範囲：色分離（背景色違い・吹き出し等）
- ☐ 装飾：文字色が#のみ異なる

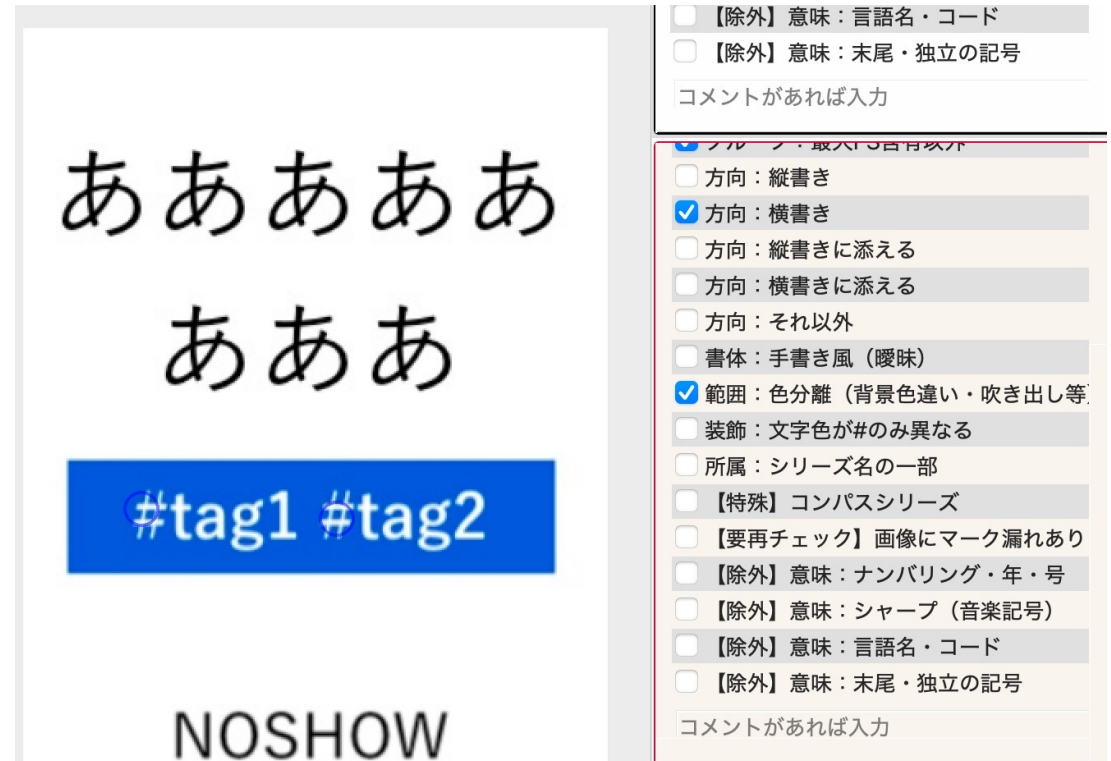
(位置割合: 0.537, 0.630)

- ☐ システム登録タイトル以外
- ☐ 出現回数：単独
- ☐ 出現回数：複数
- ☒ 出現回数：同種複数
- ☐ FS：最大
- ☐ グループ：最大FS含有

← 戻る 次へ → 保存 終了

タグ付け

- 右側タグ付け欄
 - コメント欄もあり



止めたくなったら

- 右下で「保存」ボタンを押すか前後に移動してから「終了」するのが安全なはず
 - 一応左右移動時やチェックを増やす時などにオートセーブするはず

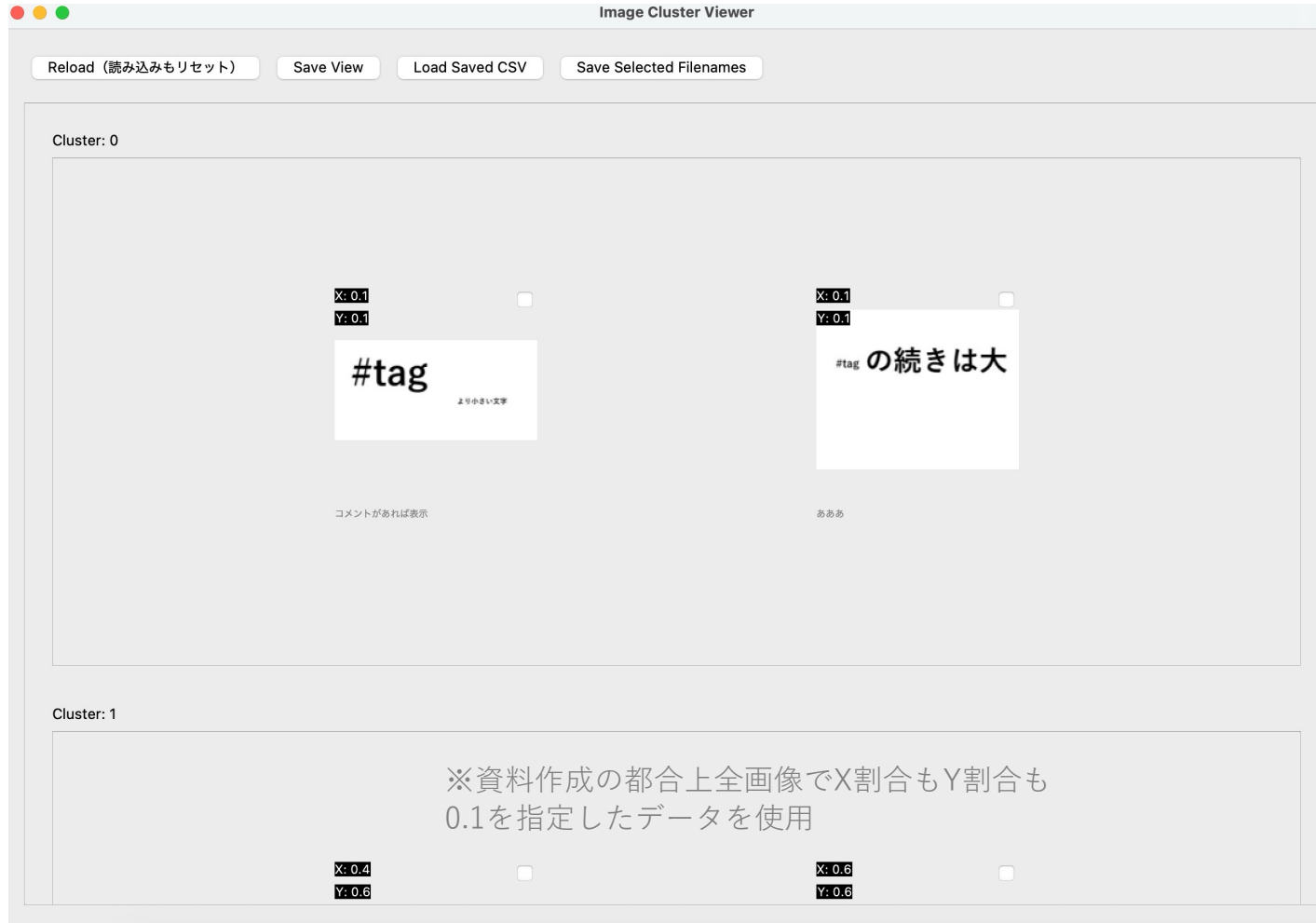


3. クラスタごとの表示

- 使用するデータ
 - 画像ファイル群（1つのフォルダ内にまとめておく）
 - ※1でマークしたものだけ読み込まれる
 - クラスタ情報も入れたリスト
 - （使うなら）NOSHOWリスト

クラスタごとの表示

- 割当クラスタごとにサンプルを（指定枚数以下）表示
- 非表示画像の指定も可能
- 他の設定
 - 最初から/ランダム
 - ファイル名重複時1枚だけ出すか



詳細：
座標割合, コメント欄, チェックボックス

X: 0.1

Y: 0.1



#tag

より小さい文字

コメントがあれば表示

X: 0.1

Y: 0.1



#tag の続きは大

あああ

クラスタごとの表示



保存機能

現在表示しているエントリの
保存/読み込みができる
→いいビューが出たら
それを使える



チェックしたファイル名一覧の 保存機能

→アノテーションミス
を発見したときに、
どのファイルなのかを
わかりやすくする